



公共施設再編計画

施設機能毎の実態課題のまとめと今後の方向性 (案)

2016年度（第1回～第3回）、2017年度（第4回～第5回）の策定検討委員会の検討をもとに施設機能分類毎の「実態・課題」と「今後の方向性」についてとりまとめました。

■ 施設機能毎の実態と課題の見方

実態と課題については、施設の現状分析として、施設機能ごとの施設概要と6つのポイントに着目して実態・課題を整理しています。また、これらの整理をもとに、4つの視点から分析を加えています。

▼機能毎の実態と課題は次の項目で作成されています。

施設概要

分類された施設機能の対象施設を一覧で掲載しています。各項目の説明は以下のとおり。

	説明
地域	施設が配置されている地域。 ※都市マスタープラン10地域に準ずる。ただし、一部を除く。
複合	当該施設を含む複合施設。「◎」は当該施設が複合施設における主たる施設であることを指し、複合施設等には当該施設以外の複合施設を記載している。「○」は主たる施設の中に複合されている施設であることを指し、備考には複合施設の主たる施設を記載している。
施設名	当該施設の名称。 ※複数棟から構成されている施設は代表施設名称として1つの名称に統一している。
面積	当該施設の延べ床面積。複数棟から構成されている施設はそれぞれの棟延べ床面積を合算した面積。 ※延床面積が空欄の施設は複合施設内に設置されている施設である。複合施設については、全体の延床面積を施設の主たるサービス・機能に記載している。 ※数値の端数処理は四捨五入しているため、合計が内訳と一致しない場合がある。
築年	当該施設の建築年度。複数棟から構成されている施設は主要な棟と設定した棟の建築年度。

実態と課題

6つのポイントに着目して施設機能毎の実態と課題を整理しています。各ポイントの説明は以下のとおり。

要素	説明
配置	対象施設の配置状況について記載しています。どのように地域に分散しているのか、また、利用する際の交通事情などで特徴的な事項を記載しています。
建物	対象施設の老朽化状況や施設保全のための主な施設改修状況を記載しています。
機能	対象施設で提供する機能の確認をしています。複合化の状況等もここで記載しています。
利用	対象施設の利用状況について記載しています。主に施設再編を検討するうえで参考とすべきデータに限定しています。
運営	対象施設の運営状況について記載しています。市の直営なのか、民間等への委託で運営されているのかなどを記載しています。
コスト	対象施設で行われている事業にかかる費用について記載しています。2015 年度行政コスト計算書を活用し、費用と収入の関係や原単位あたりのコストを示しています。 ※一部の施設機能においては掲載なし。

4つの視点から

実態と課題の整理をもとに、4つの視点から分析を加えています。

視点	説明
行政関与の必要性	当該サービス・機能がどのような法令等に基づき提供されているのか、市が施設を設置する義務があるのか、サービス・機能の提供が義務づけられているものなのか等について記載しています。
設置目的との整合性	施設を設置した目的と現在の施設の利用実態が整合しているか記載しています。
利用状況の妥当性	利用の状況について記載しています。課題となる（なりえる）利用実態がある場合は、その内容を記載しています。
施設の代替性	類似するサービス・機能が他の公共施設や民間施設で提供されていないか記載しています。

現状・課題

上記の整理から、現在の施設の状況や将来を見据えた課題についてまとめています。

■ 施設機能毎の今後の方向性の見方

長期的な視点をもって総合的かつ計画的に再編を進めていくため、まず施設機能毎に今後の方向性を決めました。個々の施設の具体的な再編については、機能毎の方向性をベースにして検討していきます。

▼機能毎の方向性は次の構成で作成されています。

再編後のイメージ例

町田市の公共施設再編は、経営的視点にたった見直しを行うと同時に、将来に向けたより良いかたちを実現することを目的としています。

そこで、施設機能毎の再編後のより良いかたちに対する理解を深めて頂くため、再編のねらいを示すとともに、その様子をイラスト[※]にしました。

※ イラストは再編によって実現しようとするかたちの要素をイメージ化したものであり、イラスト通りに施設等を整備することを示したものではありません。

今後の方向性

施設機能毎の今後の方向性及び今後の方向性に沿った再編の取り組みと時期を示しました。

短期（2018-2026年度）の取り組みについては、より具体的な「再編プログラム」を作成します。

- [行政経営改革プラン]と記載のある取り組みは、町田市基本計画「まちだ未来づくりプラン」の実行計画である『町田市 5ヶ年計画 17-21』の「行政経営改革プラン」に基づく取り組みです。
- [継続]と記載のある取り組みは、記載のある時期だけでなく、以降の時期についても継続して実施する取り組みです。

方向性の実現に向けた主な手法

方向性を実現していくうえで効果的な手法をアイコンで提示しました。

アイコン表示	説明
集約	集約
複・多	複合化・多機能化
L	LCC削減
長寿	長寿命化
連携	市民・地域連携
PP	PPP/PFI
活用	市有財産の活用

～こんな取り組みも始まっています～

建物総量の削減や様々な効率化等を図りつつ、必要なサービスの維持・向上や時代にあった新たな価値を創造していくためには、前例踏襲ではない発展的な考えや取り組みも必要となります。そこで、再編後のイメージ例や今後の方向性の理解につながるような新しい取り組みや、新しい公共公益的サービスのかたちを考えるきっかけとなるような取り組み等をご紹介します。